



第36回 文化祭

10月19日(金)に第36回文化祭が行われました。午前は展示見学と合唱コンクール、午後は舞台発表と、盛りだくさんの1日でした。初めての合唱コンクール、各パートにわかれて歌う難しさや、クラスで一つの歌を作り上げる大変さを実感したと思います。

合唱コンクール 1年生の部

クラス	曲名	指揮者	伴奏者
1組	今を生きる		
2組	生きている証		
3組	COSMOS		
4組	小さな勇気		



10月22日(月)6校時の総合で「文化祭を振り返って」というテーマで作文を書きました。行事が終わったら作文を書く、ということを学年で続けています。作文の内容が深まり、短い時間でたくさんの文章が書ける人が増えました。一部を紹介します。今号は各クラス指揮者・伴奏者です。

「文化祭を振り返って」

毎日、授業が終わった後に皆でソプラノ、アルト、テナーに分かれて練習をした。私は指揮者だったので、伴奏者の埴岡さんと一緒に練習していた。しかし、テンポがふらついたり、ミスをしてしまい、時にはくじけそうになることもあった。

でも、「自分が皆を引っ張っていかないとだめだ!!」と思い、そんな気持ちから立ち上がった。そして、当日になり文化祭という大きな行事が始まった。最後の合唱練習はうまくできた。みんなと協力してきれいなハーモニーを奏でられた。

そして、合唱コンクールが始まった。最初の4組は私達を圧倒した。「これはダメかもしれない」という気持ちもありながら、とうとう自分達の番が来て歌った。

結果は、金賞でも銀賞でもなかった。すごく悔しかった。次の行事ではこの経験を活かして、がんばりたい。

(1組 指揮者)

「文化祭を振り返って」

私のクラスの合唱は「今を生きる」という曲です。この曲は、人は誰でも輝けるということが中心に作られています。私はピアノの担当でした。初めてこの曲を弾いた時は、bが2つありうまく弾くことができませんでした。しかし、1ヶ月くらい練習して全体を通すことができたのでよかったです。

一方、歌ではブレスや音程に気をつけながら歌っているのを見て、皆頑張っていてすごいなと思いました。私ももっと頑張ろうと思いました。そして、ピアノに合わせての練習の時、皆とテンポがずれた

り、音が外れたりして本番直前の練習も失敗しました。

本番もとても緊張しましたが、一回も失敗せずに引くことができたのでよかったです。2年生や3年生は、1年生とは違い迫力があり、ピアノもすごかったです。先輩の合唱を見て、来年も合唱コンクールで弾けるよう頑張りたいと思いました。

1年1組の結果は、優勝ではありませんでした。でも、本番では皆一生懸命に取り組むことができました。次に学年で競い合う行事では、合唱コンクールをいかして優勝できるように頑張ろうと思いました。そして、来年の合唱コンクールでは金賞がとれるように頑張りたいです。

(1組 伴奏者)

「3UPした文化祭」

僕は文化祭を振り返り、「成長の文化祭」だったと思います。なぜなら歌い始めたときは、音程も、タイミングも全然合いませんでした。声変わりをしていない男子からしたら大変でした。低い声を出すどうしても声が小さくなってしまい、声を大きくすると今度は音程がずれてしまいます。ましてやそれで女子と合わせるなんて、その頃は不可能に近い注文でした。しかし、皆が話し合いを深め、団結力も深めていきました。それが3UPの1つだったと思います。

そして、音程が合い始めると、声が小さく弱気なのが問題でした。工夫して練習した結果、声が出るようになりました。そして、ハモることができるようになり、皆で合唱ができるようになりました。合唱は自分の表情が声に載って出るものです。すごくいい合唱になってきました。ここで、皆の花が咲き、また1UPしました。一人一人は違う声でも、皆でまとまればきれいな声になる、伸びしろがあると信じてやってきました。だから、本番ではもっといい歌声が聴けると思っていました。

本番。途中でピアノが途切れました。しかし、皆は歌い続けました。僕は感動し、思わず笑顔になりました。その瞬間、このクラスで良かったと思いました。そして結果は…銀賞!!最後までやり抜いて良かったと実感した瞬間でした。

これを普段の生活でも活かして、最後まで諦めないという気持ちで臨みたいと思いました。

(2組 指揮者)

「合唱コンクール」

10月19日に文化祭が行われました。メインは合唱コンクールです。文化祭2週間前から合唱の放課後練習が始まりました。初めはピアノ、指揮、歌が全然合いませんでした。でも、毎日皆と一生懸命練習していき、曲に雰囲気が出てきました。

最後の練習では、皆の息がぴったりと合い、とても嬉しかったです。体育館に入ってすぐに合唱コンクールが始まりました。トップバッターで1年4組が歌いました。その時と同時に緊張感が始まり、2組の番が来るまで一瞬に感じました。

本番、色々な不安を抱えながらピアノを弾きました。いつもは間違えないところで間違ってしまう、頭が真っ白になりました。気がつくとも手が止まっていた。どうしたらいいかわからなくなりました。2組の皆は歌い続けてくれていました。そのおかげで最後までやらないといけないと思い、自分で入れるところから弾き始めました。周りから、「止まったよな」とか色々な声が聞こえてきて、はやく終わってほしいと思ってしまいました。

終わった後、席が近い人から「よかったよ」と言ってもらいました。でも、その言葉が聞こえていな

かったようにしてしまいました。自分の中で悔しさや、もっと練習しておけばよかったという気持ちでいっぱいになってしまったからです。

結果発表の時、もう無理かなと思いながらもドキドキしていました。2組が入っていたらいいなと思いました。銀賞の発表、2組と呼ばれた時とても嬉しかったです。

(2組 伴奏者)

「合唱コンクール」

「1、2、3、4…」私の指揮のもと、みんなの声が体育館全体に響きました。緊張して手が震えながらも、指揮をすることができました。

私はずっと、練習の時よかったところや悪かったところを見つけては、どうやって改善できるかを考え、皆に言っていました。例えば、声が出ていなければもっと口を大きく開けたり、ブレスをするとよくなると言っていました。放課後練習を毎日しているうちに、皆の息が合ってブレスのタイミングがそろってきたりしました。毎日少しずつ、上手くなってきているなと実感しました。

本番当日、最後の練習をしている時、「頑張ったら金賞とれるかもな」と少し期待していました。でも、結果は金賞、銀賞どちらもとれずに終わってしまいました。

私は今まで皆と練習をがんばってきて、友達とアドバイスを出し合いました。3組は今まで賞状をもらったことはありません。でも、どんなことにも諦めず取り組んできたので、今回の合唱コンクールでもクラスの団結がより深まったと感じました。

(3組 指揮者)

「金賞じゃなかったからこそ」

6月頃、3組は合唱コンクールで「COSMOS」を歌うことが決まり、ピアノを5年以上習っている人が集められました。「少し家で弾いてみて」と椋尾先生に言われました。

私は前から伴奏をしてみたいと思っていて、私しか立候補がいなかったので、伴奏をすることが決まりました。それから、夏休みも毎日、練習をしました。できないところがたくさんあり、やりたくないな、と思うときもありました。けれど、とりあえず夏休み明けにはゆっくりだけれど、全部通して弾けるようになっていました。

中間テストが終わって、本格的に文化祭モードに切り替わり、初めてクラスの皆の前で弾いたとき、緊張して頭が真っ白になって全く引けませんでした。その時、自分の中で不安と焦りがでてきて、自分の気持ちに押しつぶされそうでした。この時合唱コンクールが不安でしかたがなかったです。

合唱コンクール2週間前になり放課後練習が始まりました。その頃は、なんとか自分の伴奏で皆が歌えるところまでいき、私は少しほっとしていました。でも、少し間違えると歌もとまってしまい、そのたびに嫌な空気が流れていました。

文化祭当日。学校に行く前から緊張してとても胃が痛かったです。でも私は必ず弾ききろうと決めていました。本番、私は初めて皆の前でノーミスで弾けました。とてもうれしくて、たまらなかったです。結果は金賞でも銀賞でもありませんでした。そのとき、私は自分のせいだと思いました。教室に帰って私が暗そうな顔をしているのを見た人が「大丈夫」と言ってくれました。とても嬉しかったです。私は合唱コンクールを通し、一番じゃないからこそわかることがあるんだと思いました。

(3組 伴奏者)

「成長を感じた文化祭」

文化祭といえば合唱コンクール、といってもいいくらい大きな行事。1年4組では「小さな勇気」を歌うことになっていた。この曲は歌詞がとてもよく、先生も「君たちにあう歌詞だ」と言ってくれていた。

そして、放課後練習が始まったある日。私は指揮者に選ばれた。最初はびっくりしたけれど、嬉しかった。指揮者としての練習も始まった。手の使い方、テンポをとるのが難しかったけれど、どんどん楽しくなってきた。皆の前に立って指揮を振るのはちょっと緊張したけれど、それに合わせて歌ってくれたのがとても嬉しくて、指揮をしているときに笑顔になっている時もあったと思う。皆、頑張っているし私も頑張らないといけないな、と思った。自分の心の中で絶対に金賞をとると決めた。

本番。最初だから声もあまり出せないんじゃないかと思ったけれど、歌うときになって指揮をふたら出だしからきれいな声が出た。それからずっと今まで以上の歌声だった。指揮を振っていて、感動できた。今までで一番よかったと私は思う。

ついに結果発表。銀賞から発表されて金賞の番がきた。願った。「4組」…信じられなかった。本当に嬉しかった。となりにいた子と喜びを分かち合った。トロフィーを校長先生からもらった瞬間は涙がでるほどうれしかった。4組の人には感謝しかない。いたみホールではもっと頑張りたい。来年も指揮者をしてみたい。私は今回の文化祭で大きく変わった。前向きになった。「明日が楽しみ」という気持ちに成長した。1年4組、本当にありがとう。

(4組 指揮者)

「文化祭で…」

私達1年4組は「小さな勇気」という曲を合唱コンクールで歌いました。指揮は米代さん、伴奏は私でした。文化祭当日まで皆で意見を出し合って頑張ってきました。初めは、真面目にしている人もあまり多くなく、「このままで大丈夫かな」と思う時もありました。

でも、当日になり、朝の練習時間は皆しっかり取り組んでいました。4組は全学年の中で最初でした。とても緊張していました。いよいよアナウンスがかかり、拍手の音が聞こえ、私はピアノを弾き始めました。

合唱コンクールの結果発表。椋尾先生が最初に1年生の銀賞クラスを言いました。「2組です。」それをきいた時、「もう無理かな」と思いました。金賞の発表です。「4組です。」そうきいたときとてもびっくりしました。すごくうれしかったです。そして、校長先生から賞状とトロフィーをもらい、「今までがんばってきてよかったな」と思いました。

椋尾先生が「1年生の最初のクラス、声がスパンと出ていてよかったな」と話していたのをきいて、とてもうれしかったです。次は笹原中学校1年生として歌います。伴奏は緊張するけれど、2年生の代表の伴奏者が同じパートの先輩で「一緒にがんばろ！」と言ってくれました。今まで以上のいい歌にしようと思いました。

(4組 伴奏者)